

## 日本発祥の製鉄会社として未来に向かい世界で成長を続ける 来年4月1日に社名を「日本製鉄」に変更



記者会見

新日鉄住金は5月16日開催の取締役会で、商号の変更および定款の一部変更について6月26日開催の第94回定時株主総会に上程することを決議しました。また、東京証券取引所に上場している連結子会社の日新製鋼(株)および新日鉄住金ソリューションズ(株)も商号の変更について決議しました。2012年10月に新日本製鉄(株)と住友金属工業(株)が経営統合し、その商号を「新日鐵住金株式会社」とした新日鉄住金は、17年3月に日新製鋼を子会社化し、現在は山陽特殊製鋼の子会社化を検討しています。また、経済のグローバル化が一層進展するなか、新日鉄住金は世界各地での事業展開を強く推し進め、日本発祥の製鉄会社として未来に向かい世界で成長を続ける企業にふさわしい、より包括的で新たな商号に変更することとしました。

新日鉄住金の新商号	日本製鉄株式会社 (英文: NIPPON STEEL CORPORATION)	変更予定日: 2019年4月1日
連結子会社の新商号	日鉄日新製鋼株式会社 (英文: NIPPON STEEL NISSHIN CO., LTD.)	変更予定日: 2019年4月1日までに実施する予定
	日鉄ソリューションズ株式会社 (英文: NS Solutions Corporation)	変更予定日: 2019年4月1日



TPMアドバンスト特別賞授賞式(3月21日、国立京都国際会館)

### NS-SUSが「アドバンスト特別賞」を受賞

新日鉄住金の連結子会社であるタイの冷延・めっき鋼板メーカー、タイNS-Siam United Steel Co., Ltd.(NS-SUS)は、2017年度のJIPM※1が提唱するTPM※2活動の「アドバンスト特別賞」を受賞しました。08年度優秀賞カテゴリーA、10年度優秀継続賞、12年度特別賞に次ぐ受賞となります。

授賞式にはバン トゥーン・ジュイ チャラン副社長が、海外受賞93事業所を代表して同社のTPM活動の概要を紹介する基調講演を行いました。今後は、最高賞であるワールドクラス賞を目指して、世界トップクラスの企業体質を構築すべく、全社員一丸となって日々の改善に取り組んでいきます。

※1 JIPM: 日本プラントメンテナンス協会

※2 TPM: Total Productive Maintenance/Management

### 超ハイテン鋼板の供給体制を強化

新日鉄住金は、超ハイテン鋼板の供給体制を強化するため、君津製鉄所に溶融亜鉛めつき設備(CGL)を新設します。新CGLは、強度1.5GPa級の超ハイテン鋼板の製造が可能で、生産能力は3万3000トン/月、2020年度第2四半期の生産開始を目指します。

本施策は、鉄のポテンシャルを最大限引き出す「鉄を極める」取り組みの一環であり、超ハイテンなどの高機能素材とソリューション技術の提供により、お客様の価値創造に貢献していきます。



記者会見

## 日新製鋼を完全子会社化 ステンレス鋼板事業の統合に係る 基本合意書を締結

新日鉄住金と日新製鋼(株)は、新日鉄住金グループの経営資源の相互活用を加速し、連携深化をさらに推進してシナジーの最大化を早期に実現するべく、5月16日開催の両社の取締役会で、2019年1月1日を効力発生日として新日鉄住金を株式交換完全親会社、日新製鋼を株式交換完全子会社とする株式交換を行い、

日新製鋼を新日鉄住金の完全子会社とすることを決定。本株式交換に係る株式交換契約を両社間で締結しました。

また、新日鉄住金、日新製鋼、新日鉄住金ステンレス(株)は、19年4月1日をめどに、新日鉄住金の特殊ステンレス事業(鋼板、形鋼)のうちの鋼板事業の一部、日新製鋼のステンレス事業(鋼板、鋼管)のうち鋼板事業を新日鉄住金ステンレスが承継することを決定。本ステンレス鋼板事業統合に係る基本合意書を3社間で締結しました。

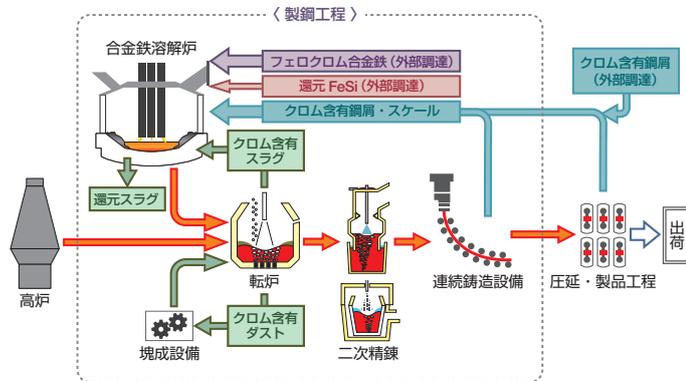


贈賞式(3月23日、日本工業倶楽部会館)

## 第64回「大河内記念生産特賞」を受賞

新日鉄住金は、第64回大河内賞において、「省資源・環境調和型・高生産性ステンレス製鋼プロセスの開発」で最高賞「大河内記念生産特賞」を受賞しました。

今回開発したYES(Yawata Environment-friendly Smelter)は、転炉プロセスに合金鉄溶解炉プロセスを組み合わせ、炉底からアルゴンガスなどを吹き込み、装入物の溶解と反応が促進可能なスクラップ溶解のための還元雰囲気電気炉です。クロム含有のスラップ、ダスト、スケール、転炉スラグの全量リサイクルが可能となるなど、環境面および生産性の向上とコスト削減が図られました。

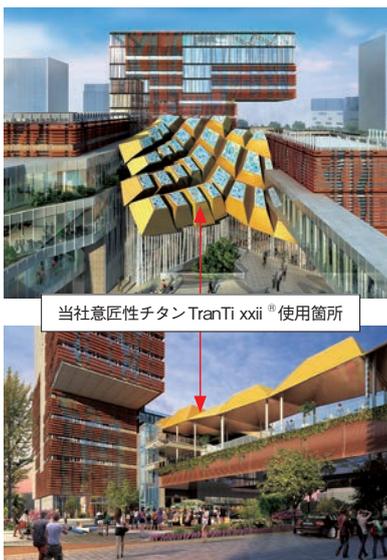


YESの概要図

## TranTixxii<sup>®</sup> が復旦大学管理学院棟に採用決定

新日鉄住金の意匠性チタン TranTixxii<sup>®</sup> が、中国の復旦大学管理学院棟に採用されることが決定し、1月26日に同大学で調印式が行われました。

建物のキーとなる材料として TranTixxii<sup>®</sup> のデザイン性が高く評価され、中央広場に面した建物と渡り廊下の外装材に採用されました。また、軽量で安全性が高く、高耐食性能によるメンテナンス負荷の軽減、金属イオンの溶出がほぼないという環境親和性が高評価されました。



当社意匠性チタン TranTixxii<sup>®</sup> 使用箇所

上海復旦大学管理学院棟の完成予想図



### 『季刊 新日鉄住金』バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.nssmc.com/company/publications/quarterly-nssmc/index.html>

なお、定期送付ご希望の方は上記アドレスより申し込みください。